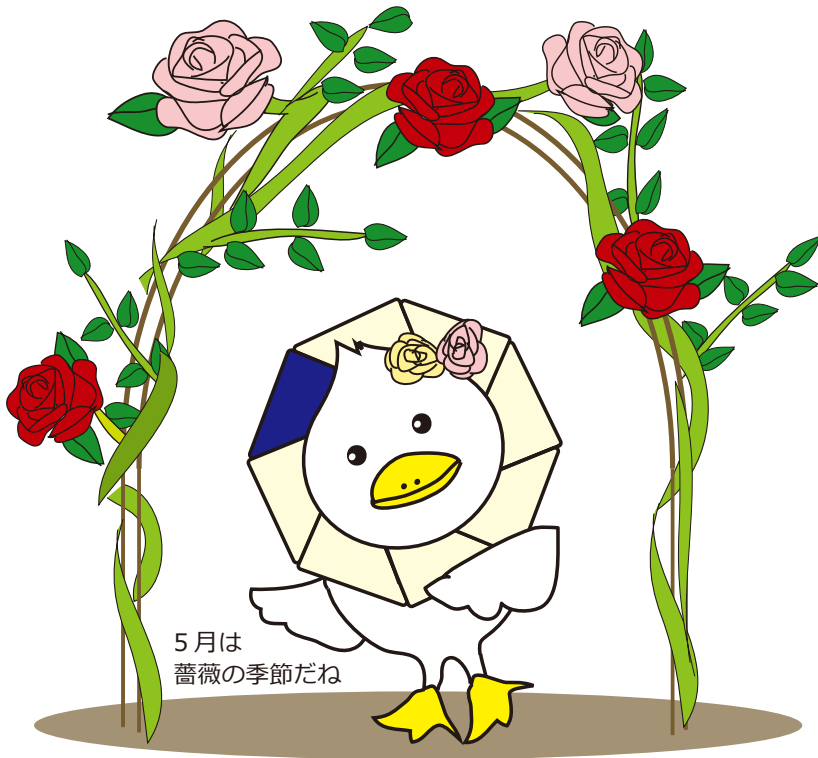


ナカログ

Spring.
2010
Vol. 26



今年も交流会開催します。

第1回・第3回なか区民活動センター祭りで行った”登録団体交流会”。今年はセンター祭りとは別日に開催します。参加する団体の皆さんが、他団体とのつながりや活動へのヒントを手に入れられるような交流会を企画しています。楽しみにしててくださいね。

2.
3 P
講座や講演会など、様々な事業を行ってきました
なか区民活動センター 21年度1年間の振り返り

4.
P
が ら が ら
学・楽・学・楽ぼんっ！活動の達人にインタビュー
ジャックサポーターズ **天野 慎祐さん**

なか区民活動センター登録団体をご紹介
5.
P
EU 諸国との友好を進める「特定非営利活動団体 日仏友好協会」
親子の”笑顔”を作る活動「NL Chio(エヌエルちお)」

6.
P
唱歌・童謡で生まれる世代を超えた繋がり
「特定非営利活動法人 日本の唱歌・童謡を歌い継ぐ『桃の会』」
活動に役立つヒント ファシリテーター竹迫和代さん

7.
P
なか区民活動センターのさまざまなシーン
なか区民活動センターの風景 2~4月

なか区民活動センター 21年度 1年間の振り返り



2009年は横浜開港150周年でしたね。市内各地で色々な催しが行われ、横浜がとっても元気な1年でした。なか区民活動センターでも様々な事業を行いましたよ！

4月

- **パソコンボランティア養成とスキルアップ講座 (24日～)**
5月まで6回にわたり、PCのボランティアのスキルを身につけました。
- **ゆったりゆったりボランティア 廣瀬隆人先生講演会 (24日)**
宇都宮大学の廣瀬先生を講師にお迎えして、ボランティア活動の極意を教えてくださいました。
- **日本大通り周辺マップ制作事業 (～7月)**
「海へつながる日本大通り」講座修了生有志と共に市民マップを製作しました。「日本大通り周辺マップ」という名でなか区民活動センター窓口で配布中です。



5月

- **初心者のためのパソコン入門講座「なかパソコンジム」(～7月)**
中区役所後援、講師PCはまかぜ。全くパソコンを使ったことがない人のためのパソコン教室を行いました。

6月

- **中区多文化フェスティバル (6日・7日)**



日本大通り～象の鼻パークを会場として行われた「開港ルネッサンス」の中で、なか区民活動センターは多文化フェスティバルを行いました。ミーティングエリア・研修室・日本大通りを会場に、越劇・京劇のワークショップや民芸品の販売、世界の紅茶体験などを行いました。国際色豊かで賑やかな2日間となりました。

- **中区地球冷やし隊 ゴーヤのカーテン (～9月)**
遮光による断熱を目的とし今年もゴーヤのカーテンを行いました。今年は初めて種から育ててみました。



- **中区日本語ボランティア養成講座 (9日～)**
今年で3年目となった日本語ボランティア養成講座。修了生は「日本語ひろば」のメンバーに加わり、活動しています。
- **保育ボランティア (一時託児協力者) 養成講座 (12日～)**
多方面から講師を依頼し、充実した講座を実施しました。

8月

- **中華街探検ツアー「中華街発、横浜経由、世界行き」(19日～22日)**
数日にわたり、小学生対象の体験ツアーをYMCAとの共催で行いました。参加した子どもたちは、中華街店舗へのインタビューに挑戦しました。

- **太陽熱でゆで卵**
「ミニソーラークッカー」を作ってみよう (21日)
NPO法人ソフトエネルギープロジェクトを講師に招いて、地球温暖化について学びながら工作も行う小学生向けの講座を実施しました。



9月

- 初心者のためのパソコン入門講座「なかパソコンジム」(11月)
中区役所後援、PCはまかせ主催。オリジナルテキストが好評でした。

10月

- オフタイム充実宣言 横濱のJAZZを嗜む流儀(14日～)

水曜の夜に3回にわたり開催しました。横濱とJAZZの関係を歴史的にとらえ、実際に演奏する楽しみについても学びました。



- ライフデザインフェア

「50歳代からの地域参加スタートアップのための提案展」(10月31日～11月5日)
団塊世代の地域デビューの応援のため、区内の区民利用施設および地域ケアプラザなどが開催している地域参加イベントや活動情報を一同に集め展示しました。



- オレンジリボンキャンペーン(2日～30日)

11月の児童虐待防止月間にちなみ、子育てサークルの方と一緒にワークショップを行いました。地域の幼稚園の子どもたちも参加してくれました。ワークショップでの制作物は1ヶ月間、センターの外壁に展示しました。

- 「思春期」の関り方・見守り方(11月9日)

大鳥中学校コミュニティハウスと共催で、思春期の子どもと向き合う方法について学びました。

- ジャックサポーターズ養成講座(3期生)(12日～)

横浜市開港記念会館でガイドを行うボランティアの3期生を募集しました。

12月

- 第3回なか区民活動センター祭り～みんなの活動交歓会～(12月5日)

2部制にし、1部では展示・販売・ワークショップを行い、2部ではなか区民活動センター登録団体を対象に、課題解決を目的とした交流会を行いました。1部2部合わせて、のべ350名の参加がありました。寒い1日でしたが、なか区民活動センターは皆さんの活気で溢れていました。

1月

- なか区「街の先生」ガイド発行しました。
今回は街の先生各人による自己紹介用手書きページを作ってみました。
ご自分の作品やお姿の写真を載せたり、絵を描いたり、各先生の個性が溢れる冊子に仕上がりました。
なか区民活動センター窓口等で閲覧できます。



22年度のなか区民活動センターでは…

なか区民活動センター登録団体交流会、
第4回なか区民活動センター祭り、など団体間のネットワーク作りに力を入れて支援を行っていく予定です。

がらが学業5 ぽんっ!

活動の達人にインタビュー

今回は、開港記念会館を舞台にその建物、歴史を紹介するジャックサポーターズ（前代表者）や、地域ケアプラザの「健康ウォーク」などでご活躍の天野禎祐さんにお話を伺いました。



Q. 天野さんは、どのような活動をされていますか？

A. 昨年はY150で横浜は賑わいました。横浜の代表的建造物の一つである開港記念会館にて、館の歴史、建物構造を利用者や見学者の皆様にガイドトークで案内説明しております。また、新山下地域ケアプラザで高齢者を主体にした「健康ウォーク」を3回シリーズで春と秋に行っております。これは地域の人々との歴史のおしゃべりウォーキングです。1回目はケアプラザで、当月歩く2つのコースの歴史や見どころなどについて説明、調査など行います。2回目、3回目は、それらのコースのウォーキングを行います。坂道、急な石段は避け、地元の歴史を学びながら、参加者と知識の交流を行いながら、頭と体を動かし健康づくりにも楽しいです。

Q. 活動を始めたキッカケは何だったのでしょうか？

A. 2001年に東京から横浜に来ました。このときから、居住地周辺の地形を知ることに関心をもち、近隣住民との懇親を深めることが大切だと考えて、生活習慣改善と健康長寿のため「早朝ウォーク」を始めました。毎朝続けた結果、地形地名、板碑石碑などの歴史の知識が膨らんできました。地域歴史や散歩が大好きになったことが、現在の活動のキッカケです。

Q. 活動を盛り上げるうえで、工夫していることや、気をつけていることは？

A. 館内外のガイドトークに、早朝ウォーキングで見聞した Up to date な話題を織り込むことです。フレッシュな話題は聞く人が感動するものです。また、ハウレンソウ（報告、連絡、相談）とオアシス（おはよう、ありがとう、失礼します、すみません）を忘れず、笑顔と明るい声（こわね）で安心感を与えるアプローチに気をつけてます。

Q. 活動をする上で、苦労されたことは？

A. 名前や団体名を覚えることです。ガイドの活動は、人の名前を覚えることから始まります。

Q. 活動の喜びは、どんな時に感じますか？

A. いろいろな人々とふれあい、会話ができることです。こちらの説明をじっくり聞いてもらった時や、メモをとり真剣に聞いてもらったとき、質疑応答などでお互いに見聞が広がったときなどに喜びを感じています。

Q. 最後に、今後やってみたいことは？

A. 近々開幕の「上海万博」では横浜は姉妹港、今秋のAPECは横浜開催。海外からの観光客が増えると思われ、何らかの形で外国文化との交流に関することをしたいと考えてます。



特定非営利活動法人 日仏友好協会

登録 No. なか - 136A 代表/都甲 正一 E-mail アドレス/ syoichi.tokou@gmail.com
 Fax / 045-894-8178

フランスを中心に EU 諸国との友好を進める

平成19年(2008年)に日仏は国交を開いて150周年を迎えました。日仏友好協会はこれを機に両国民の文化、芸術交流を一層深めようと設立されました。なかでも両国の交流史、地方文化とくに庶民の文化、芸術の発掘と交流に力を入れています。わが国からは伝統文化・芸術の優れたものを、フランスを初めEU諸国に紹介しています。その一環として横浜開港150周年を迎えた昨年「よこはま史跡めぐり」を始め、去る4月24日に第二回目を多数の参加者を迎えて実施しました。第三回目は“船上から見た横浜”をこの10月に行う予定です。そのほか今年の協会の主な行事は次の通りです。

(テーマ) 健やかに美しく生きるために
 (行 事)

1. 日本の伝統美 和服をいかに上手に着こなすか
2. 健康の源 和食を手づくりで楽しむ法—現場で作る
3. 第3回よこはま史跡めぐり—船上から横浜を見る
4. 実用的なフランス語を喋(しゃべ)れる講座
5. 来日外国人留学生を援助するチャリティー“xmasパーティ”

以上、夢一杯の活動を多くの仲間と楽しくやっています。
 さあ、あなたも参加しましょう!



NL Chio (エヌエル チオ)

登録No. なか - 148A 代表/杉江
 E-mailアドレス/ 松井 (携帯メール) hahakkun-1607@docomo.ne.jp
 杉江 (携帯メール) tj_sugie@di.pdx.ne.jp

親子の“笑顔”を作る活動

子育て中の親は誰しもが悩みを持っているはず。いろんな場所に出かけて、仲間や子育ての先輩と出逢って、話して。親子で“心からの笑顔”になりませんか?

・活動概要

中区の子育てグループの活動を応援すると共に、子育て中の親子が楽しめる催しを企画するグループです。

・活動の始まり

中区で活動していた『子育てグループ』のリーダー達が『より中区の子育てグループを充実させたい』という思いで、リーダー同士の情報交換や、交流を目的に集まったのが始まりです。一昨年度からはより視野を広げ、地域の親子が楽しめる催しを開催しています。

・親子にとっての大切な笑顔づくり

『楽しい秋まつり』『日本の獅子舞』の他、昨年度は親子で楽しめる『生音コンサート』も大好評でした。知らない子ども同士、ママ同士でも、楽しい場を共有する事で、自然に笑顔や言葉をかわせるようになります。皆が『今日は楽しかったね』と笑顔になってくれたら嬉しいです。

特定非営利活動法人

日本の唱歌・童謡を歌い継ぐ「桃の会」

活動を読み解くためのキーワード：【文化】【世代間交流】



登録No. なか - 013B 代表/望月寛之 (ももたらう)

E-mailアドレス/momonokai@gmail.comホームページ/ <http://www.momonokai.net> (予定)

TEL: 070-6474-0965 (遠田) FAX: 03-6868-6307

唱歌・童謡で生まれる世代を超えた繋がり

おとなたちの誰もが歌ったことのある「茶摘」「朧月夜」「赤とんぼ」。四季折々の行事や自然、生き物との共生、偉人の物語などが彩り豊かに織り込まれていて、しかも誰もが口ずさむことができるシンプルなメロディーにのせて歌える唱歌・童謡は、日本の大切な宝物です。NPO 法人「桃の会」は、ア・カペラで唱歌・童謡を歌い、そして子どもたちにも伝える演奏活動を続けてきた「ももたらう」が中心となり 2009 年に発足しました。

活動の中心は唱歌・童謡を皆で歌う会です。現在、横浜（中区）と東京（杉並区）で毎月 1 回ずつ開催していますが、ひとり 1 回 1000 円で単発でどなたでも自由に参加することができます。この会の特徴は、「ももたらう」（望月、吉野、鶴岡）の 3 人のプロの歌手たちが日本語の美しい歌い方、無理のない自然な発声のコツを毎回丁寧に楽しく指導してくれることです。そしてなんと、「桃の会」で練習を重ねた成果は、年に何度か開催される「唱歌・童謡」のコンサートの舞台にたって皆で発表することができるのです。

また昨年は NPO 法人「桃の会」では中区のふりーふらっと野毛や中本牧コミュニティハウスで、子どもたちに唱歌・童謡を教える講座を開催してきました。すでに小学校ではほとんど唱歌・童謡を教えないような時代になってしまいましたが、子どもたちは唱歌・童謡を耳にするとすぐに覚えて楽しそうに大きな声で歌ってくれます。小さなお子様からおじいちゃん、おばあちゃんの世代まで一緒に歌うことができるというのが、これらの曲の最大の魅力です。

懐かしいだけでなく、歌うだけで一瞬にして世代を超えた人との繋がりをつくることのできる唱歌・童謡を、皆さんも是非一緒に歌い、そして周囲のひとたちにもその素晴らしさを伝えていきませんか？

活動に役立つヒント



ナカログでは今号から「活動に役立つヒント」を紹介していきます。

今回は、参画はぐくみ工房代表兼ファシリテーターの竹迫和代さんに充実した会議を行うコツを教えてくださいました。活動をしていく上で打ち合わせ・会議は必至です。皆さんどうそのコツをお役立てください。

会議を楽しくオモシロく！

「会議」と一口に言っても実に様々です。どうせ時間を割くならば、参加しがいのある創造的な時間にしたいと思いませんか？

私が日頃、ファシリテーターとして会議を進めるときに実践している事をご紹介します。

1. 始めの 10 分間は「口慣らし」の時間にする
2. 出た意見は必ず「見える化」する→例えば、模造紙を貼ってマジックで意見を書き出す等
3. 終わりの 10 分間は「ふりかえり」の時間にする
4. 会議に参加しての感想を、ラベル（小さな紙片でも可）に書き残してもらう

特に、1の「口慣らし」の時間は大事にしています。その人の個性が伺え、場の雰囲気も和やかになるからです。4で出してもらう付箋は、次回の会議の時までに「ニュース」にしてまとめます。

会議では言えない本音が書かれていたりして興味深いですよ。

会議とは、議題について話しあう時間だけと捉えてはいませんか？ その前後にどういう工夫をするかで会議の内容自体がグ〜んと充実してくるんですよ！

(竹迫和代)

なか区民活動センターの風景 2月～4月

ミーティングエリア

22年度ロッカー希望者の抽選会が行われました。ロッカーは1年単位での使用となりますが今年の使用希望者は37団体であり、抽選で24団体を決定しました。なおロッカーケースはまだ空きがあり、ロッカー使用団体以外でご希望の場合は、申込みが可能です。



公開抽選会の様子

研修室

「日本語ひろば」では、毎週火曜日に日本語学習をしていますが、この日は日本の文化の一つである灯籠づくりに挑戦しました。灯籠の面に絵や文字を描いてみました。数日経過後の4月4日夜、これらの灯籠は、今年の“大岡川桜祭り”で川面を彩りました。



日本語ひろば参加者の皆さんが描いた灯籠



大岡川を流れる灯籠



なか国際交流ラウンジ

学習支援

国際交流ラウンジ事業の今年度の「学習支援」が4月15日より始まりました。区内の中学校の外国籍生徒を対象に、学校の授業の復習などについて学習支援を行っているものです。

ボランティアサポーターの方々のご協力も増え今期は25名の生徒が、英語、国語、数学、理科などの勉強に励んでいます。



国際理解セミナー

国際理解セミナーは気軽な雰囲気です“英語をもっと話したい”“自分の英語力を試したい”と考える人向けのセミナーです。国際理解セミナー第4回はIndia and Japan : The Rising “Sum” (日本とインドの第3維新)と題し、駒沢大講師 Satish Tandon氏を招き3月27日に開催されました。

講義は全部英語で行われましたが、インドと日本の共通点、維新、これからの共生・共栄などを考える良い機会でした。



センターからのお知らせ

● 新年度を迎え、館内のレイアウトが変わりました

なか区民活動センター入口に案内ボードができました。また、ミーティングエリア内の上部にサインを吊り下げ、初めて来た人にも各コーナーの位置がわかるようにしました。さらに、リーフレットもフルカラーの新しいデザインに変わりました。プチ・リニューアルした、なか区民活動センターをこれからもよろしくお願いたします！



↑多言語表示の吊り看板



センター入口の案内ボード→



● 自販機設置が設置されました

以前から「飲み物が買えるようにしてほしい」との要望を利用者の皆様から受けていましたが、ついに！ミーティングエリア入口脇に自動販売機が設置されました。打ち合わせや講座などで喉が渇いたときに、どうぞご利用ください。

● ZAIM閉館

3月31日をもってZAIMは閉館しました。なか区民活動センターは同じ場所、旧ZAIM別館内で変わらず開館していますが、住所表記が「横浜市中区日本大通 34」となりました。なか区民活動センターへ郵便を送られる際にはよろしくお願いたします。

なか区民活動センター 施設利用のご案内

中区民や横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・地域活動など）をサポートする施設です。

❁ 開館時間

午前9時～午後9時

❁ 休館日

毎月第4月曜日
(祝・休日の場合は
翌火曜日及び年末年始)

❁ 施設の利用について

中区民・横浜市民の自主的な活動（市民活動・生涯学習・ボランティア活動・地域活動などの公益的な活動）にご利用いただけます。研修室や一部の設備の利用には団体登録が必要です。

❁ 利用登録

研修室・ミーティングエリア・印刷室の予約、貸しロッカー・レターケース、貸出機材を利用する場合は利用登録が必要です。登録申請にはセンタースタッフとのヒアリングや審査があり、少々お時間をいただきます。



「ナカログ」はバックナンバーも含めて、なか区民活動センターのホームページでもご覧いただくことができます。

なか区民活動センター ホームページ
<http://www.city.yokohama.lg.jp/naka/ncac/>



なか区民活動センターマスコット「もなか」



「なか区民活動センター情報誌・ナカログ」編集・発行／なか区民活動センター編集室 イラスト（もなか）／小林 問合せ／なか区民活動センター（中区地域振興課）TEL 045-224-8138 FAX 045-224-8343 〒231-0021 横浜市中区日本大通 34 E-mail : na-katsudou@city.yokohama.jp